

第53期 株主通信

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

GECOSS REPORT



社長メッセージ

採算性向上を最重点課題とした諸施策により 増収増益となりました。



■当期の概況について

当連結会計年度（2019年4月1日～2020年3月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移していましたが、米中貿易摩擦に加え、年明け以降、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に想定以上の影響を及ぼす状況となっています。

当社グループの属する建設業界においては、需要は都市部を中心に堅調に推移し、一部で新型コロナウイルスによる工事中断は見られたものの、影響は軽微なものにとどまりました。

このような経営環境のなか、当社グループでは、採算性向上を最重点課題に掲げ、価格改善および品質向上、コスト削減、コストアップ抑制を推進し、収益の確保に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度におきまして、仮設鋼材事業は、

増収増益を達成いたしました。一方、建設機械事業は賃貸用資産購入増の影響等により増収減益となったものの、連結合計では増収増益となりました。

■次期の見通しについて

2020年度は中期経営計画の最終年度にあたります。『ジェコスグループ10年VISION』の第一段階として掲げた、重仮設周辺分野の工事受注拡大、インフラメンテナンス事業の体制整備、加工事業および建機事業の拡大、ジェコス・ベトナムの活動強化を進めるとともに、新商品・新工法開発、技術力の向上に注力し、生産性と働きやすさ向上のための自動化投資等にも取り組んでまいります。

また、品質向上、コスト削減、コストアップ抑制および価格改善をさらに推進するとともに、労働力と物流の確保にも努め、

収益を確保してまいります。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大、それに伴うオリンピック・パラリンピックの延期等による経済の停滞、工事の中止・進捗遅れに対しては、従来以上に前広に対策の立案、実行を進めてまいります。

なお、次期の連結業績の見通しおよび1株あたり配当金額につきましては、現時点で新型コロナウイルスの感染拡大の影響不透明であり合理的に算定することは困難であるため、開示を見送ることとし、今後開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 馬越 学

トピックス

1

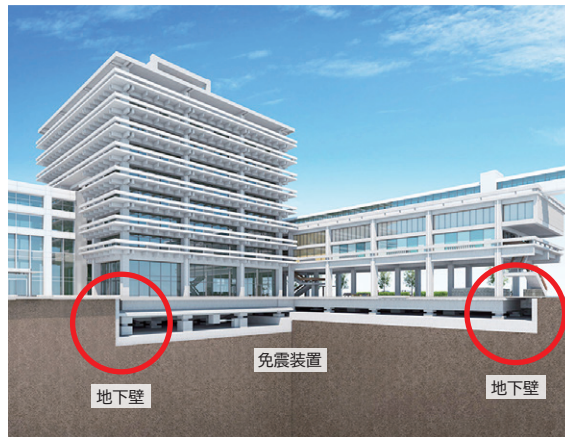
TOPICS

香川県庁舎東館耐震改修工事に「J-WALL®Ⅱ工法」を初適用

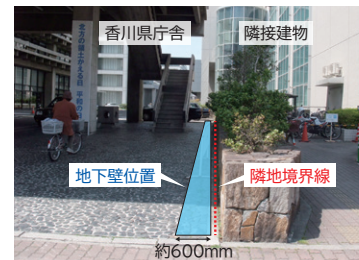
当社は、株式会社大林組、JFEスチール株式会社と共同開発をした「J-WALL®Ⅱ工法」を2019年12月に竣工した香川県庁舎東館耐震改修工事に初適用しました。この工法は仮設の土留め用鋼矢板を利用し、薄い部材厚で高剛性・高耐力の本設地下壁を構築するものです。

本地下工事の受注段階では従来工法で計画されていましたが、地下壁が隣地境界線と接しているうえ、設置スペースがわずか600mm程度しかない部分があるため、本工法を採用して狭い場所での地下壁構築を実現しました。また、本工法は狭い場所での地下壁構築だけでなく、低騒音・低振動の油圧圧入機での施工、地下壁の施工を効率化できることも大きな特徴です。

近年の震災による深刻な被害をきっかけに、特に都市部では既存建造物の耐震改修工事が増加傾向にあります。当社は今後も安心、安全、工期の短縮につながる新商品、新工法の開発を進め、社会インフラ整備を通じて社会貢献に努めてまいります。



香川県庁舎東館耐震改修工事のイメージ



隣地との近接状況



地下壁施工状況

2

TOPICS

千葉県白井市と災害協定を締結

3月に当社は、東京工場のある千葉県白井市と「災害時における災害支援資機材等の供給及び貸与に関する協定」を締結いたしました。この協定は、災害が発生し、白井市内で落橋・道路の陥没・流出等の被害により住民の皆さまへの救援に支障が生じた場合や避難所の設営等災害対応に係る資機材が不足した場合に、応急・復旧に必要な仮設鋼材、レンタカー、発電機および投光器等を供給するというものです。

今後も地域との共生を進めるとともに、安心、安全な社会の建設に貢献してまいります。



3

TOPICS

インフラメンテナンス事業を促進・建機事業を強化

1月、インフラメンテナンス事業化を促進するために「インフラメンテナンス事業推進部」を新設、あわせて加工事業拡大に向けて事業展開の検討も担う部署として「加工技術部」を「加工事業部」に名称変更しました。また2020年4月には建機事業の強化を目指して「関連事業部」の機能を見直し、「建機事業部」を立ち上げました。

今後もジェコスグループ10年VISIONの実現に向けて、事業拡大・推進のための諸施策を実施してまいります。

ビジネス紹介

仮設工事のトップランナーとして、日本の大型インフラ建設を支えています。

私たちの暮らしを支えるビルや道路などの大型のインフラ建設に欠かせない地下の基礎工事において

ジェコスグループは仮設の山留を中心とした材料供給・工事を行っております。

「ジェコスグループ10年VISION」をもとに、その領域を周辺事業に広げ、地下工事一式を受注する体制を構築してまいります。

WEB 詳しくは「事業紹介」へ

仮設鋼材事業
建設仮設材の賃貸・販売

仮設鋼材事業
仮設工事の請負



仮設鋼材事業
加工・橋梁製品の製造・賃貸・販売

建設機械事業
建設機械の賃貸

ジェコスグループ10年VISION

コンセプト

「安心、安全な社会の建設に貢献し
働きがいの向上を追求する企業」へ

目指す姿

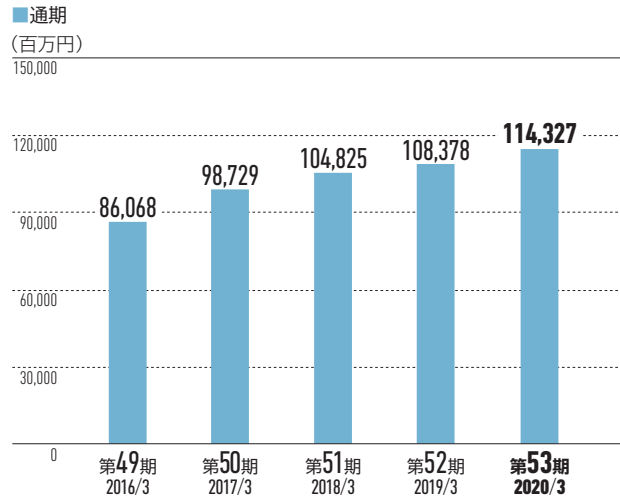
- 1 「重仮設リースと施工の企業」から
「地下工事とインフラのトータル・
ソリューション企業」への脱皮
- 2 当社が中心となり、提携・協力企
業とのシナジーを発揮するネット
ワーク・コーディネーション
- 3 先端技術を積極的に導入した、先
進的オペレーションの追求

WEB 詳しくは
「ジェコスグループ
10年VISION」へ

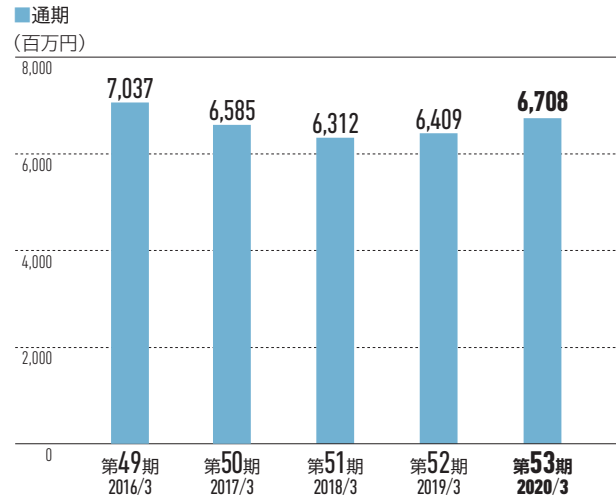
連結財務ハイライト

WEB 詳しくは「業績ハイライト」へ

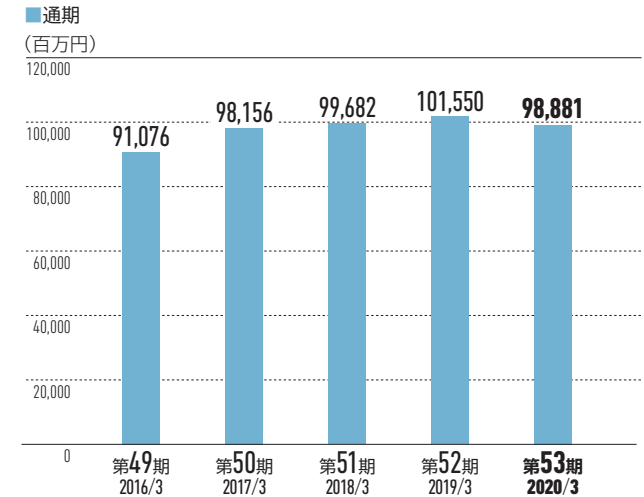
売上高



経常利益

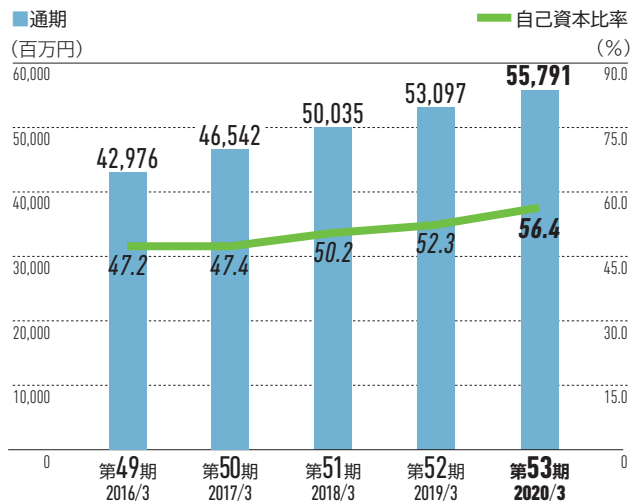


総資産

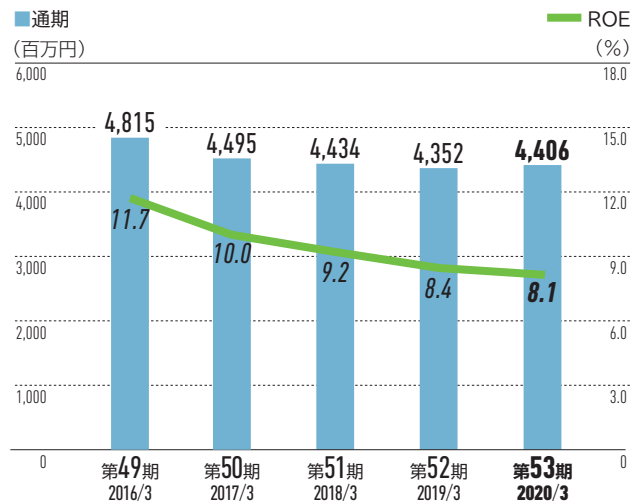


(注) 会計基準の一部改正により、第49期から第51期は当該影響を加味した
 避及修正値を使用しています。

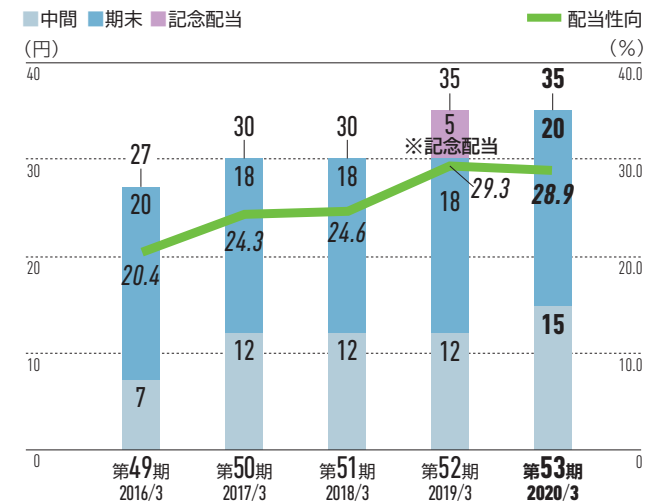
純資産・自己資本比率



純利益・ROE



配当



※ 記念配当は中間配当時に実施しています。

株主メモ

WEB 「企業情報」はこちら

WEB 「株式情報」はこちら

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告
なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
※公告掲載の当社ホームページアドレス
[▶https://www.gecoss.co.jp/](https://www.gecoss.co.jp/)



● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



第8回全店技術発表会



団体献血を実施(大阪)



医療機関へマスク寄贈



在宅勤務を実施(ビデオ会議)